

福岡アジア美術館アーティスト・イン・レジデンス事業 第3期の滞在制作がスタート！！

令和5年度のアートアーティスト・イン・レジデンス事業も、ついに第3期に入ります。

今後の国際的な活躍が期待される3名のアーティストを迎え、1月10日から3月9日まで Artist Cafe Fukuoka を拠点に、現代アートならではのユニークな作品制作や市民との交流イベントを展開する予定です。

福岡で新しいアートが生まれる瞬間や、そこに込められたアーティストたちや協力者たちの熱い思いなどを、ぜひご取材いただきますようお願いいたします。

(アーティストの滞在期間中はいつでも取材可能です。ご連絡いただければ、取材日を調整いたします。)

【アーティストのご紹介】

■チュー・メイタオ[曲美陶](ロンドン)

ミニチュアの模型やデジタルメディアを用いて、さまざまな都市を表現してきたアーティスト。福岡では、東アジアの文化や都市化、国民性の共存などをテーマに、作品を制作します。



チュー・メイタオ [曲美陶]



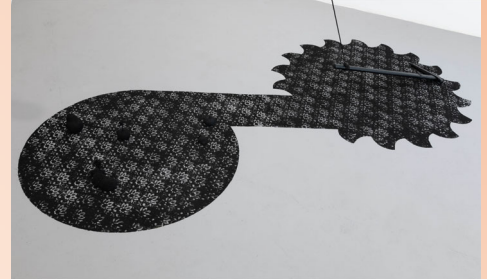
《Enter the Fortress: Play well, Eat well, Sleep well》2021

■川辺ナホ(ハンブルグ/東京)

炭という素材を通して、現代の社会構造や個人の体験を考察してきたアーティスト。福岡では、人々の生活や産業と密接に関わった石炭や、化学素材のカーボンなどをリサーチし、作品を制作します。



川辺ナホ



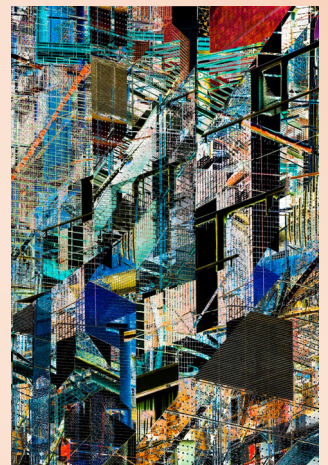
《ふたつのワルツを踊り回転する刈り機》2022年

■花田智浩(福岡)

写真を用いて、日常のルーティンに潜む思考の停止に疑問を投げかけてきたアーティスト。今回は、福岡の人々とともに新しい福岡の都市風景を制作する予定。コラージュや製本のワークショップも計画しています。



花田智浩



《Abstract Photograph》2022年

キックオフ・トーク Kick-off Talk チュー・メイタオ×川辺ナホ×花田智浩

【日時】1/21(日) 11:00~12:30

【会場】Artist Cafe Fukuoka コミュニティスペース(福岡市中央区城内 2-5)

*入場無料(事前申し込み不要)

3人のアーティストが、これまでの作品や福岡での活動予定などについて話します。

【お問い合わせ】

福岡アジア美術館 学芸課 交流・教育係 中尾、五十嵐、山口

電話：263-1103 ファックス：263-1105

Eメール：tomo@faam.aiibi.jp (中尾) . rina@faam.aiibi.jp (五十嵐)